

## 各局・区等の課題に対する市長の指示事項について

- 就任初日、局長等への訓示として、以下を述べた。
  - ・ 「温かい市政」、「結果を出す市政」が重要
  - ・ そのような市政とするためには、まずは事務の効率化により、時間を生み出すことが必要
  - ・ そこで、これまでの仕事の仕方を見直し、まず仕事量を減らすところから始める。意思決定を迅速にする。とりわけ重層的な方針決定過程を見直し、市長が早い段階で方針決定をすることとしたい。
- 新年度、前市長の方針のもと開始した仕事の新市長の遅い方針変更により手戻りが発生することにならないよう、まず4月14日から21日までの間、全局・区等から課題や重要事項・懸案事項、今後の対応方策等について状況を聴いた。
- それに対し、その場で私から即座に必要な指示をした。(その内容の概要は、以下に記載のとおり)
- 今後、各局区等は、早期に指示事項に対応する。
- 今回は、限られた時間の中での取り急ぎの対応であった。今後も引き続き、迅速な意思決定を行っていく。

各局・区等に対し行った、指示事項の概要を以下に示す。

## 1 共通事項

共通の指示事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エビデンス（根拠）と共感に基づく政策立案・政策執行を行うこと。</li> <li>○ 温かいところで、市民に寄り添い、伴走する仕事を行うこと。</li> <li>○ 市政の政策決定過程や市の持つ情報を公開して、市民に開かれたわかりやすい行政を行うこと。</li> <li>○ これまでの延長上の取組に安住しない。安全の高みにいてリスクを他に回すことをしないこと。</li> </ul>
---------	---

## 2 各局区等の個別事項（概要）

局区等名	指示事項
<p>危機管理総室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理体制の強化</li> </ul>	<p><b>【危機管理体制の強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「台風第15号に係る災害対応検証最終報告（2023年3月）」の「今後の対策」では不十分。</li> <li>○ 危機管理体制について、市は自己完結組織ではないことを意識し、いかに「社会の大きな力」がうまく働くようにするかが役割であることを認識すること。</li> <li>○ 「最悪の事態の想定」、「初動全力」、「平時組織の（有事）組織化」ができる組織とするため、何をすべきかまず整理すること。</li> <li>○ 6月の出水期までには具体的な改善策を明確にし、その上で災害に的確に対応できる体制を構築すること。</li> <li>○ 発災時初動で重要なことは、限られた情報の中での決断。被害情報が把握できているとの前提での訓練は、訓練にならない。少ない情報の中で判断し、臨機応変の対応が重要。事前の想定を示さない（不確定情報下での）実践的な訓練を通して課題を明らかにすること。</li> </ul>
<p>総務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革の推進</li> <li>・長時間勤務の是正</li> <li>・女性登用の推進</li> <li>・市民の政治参加システム</li> <li>・しずチカ空間再構築事業</li> </ul>	<p><b>【行財政改革の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全庁的な意思決定を迅速にするため、意思決定システムを見直すこと。仕事の仕方を変革すること。</li> <li>○ 他自治体のベストプラクティスを研究すること。</li> <li>○ 業務のデジタル化については、他の政令指定都市と比較して、自分たちがどのポジションにいるのかをまず整理すること。</li> </ul> <p><b>【長時間勤務の是正】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時間外勤務の現状を分析して、どこが原因なのか整理すること（職員のヒアリングも実施）。</li> </ul> <p><b>【女性登用の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 徹底的に取り組むこと。</li> </ul>

	<p><u>【市民の政治参加システム】</u></p> <p>○ 幅広く市民の意見を聞くシステムについて、どのような手法があるのか、研究事例を調査・分析し、システムを構築すること。</p> <p><u>【しずチカ空間再構築事業】</u></p> <p>○ 静岡市の玄関口であることを踏まえ、静岡駅北口地下広場「しずチカ」全体をまちの顔がわかり、心躍るような空間とすること。</p>
<p>企画局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連携の推進</li> <li>・ 4次総</li> <li>・ 社会変革研究会の発足</li> <li>・ スタジアム</li> <li>・ アリーナ整備</li> <li>・ スマートシティの推進</li> </ul>	<p><u>【広域連携の推進】</u></p> <p>○ 大井川利水関係協議会との関係も含め、広域連携をしっかり推進すること。</p> <p><u>【4次総】</u></p> <p>○ 4次総を尊重、継承した上で、それを実現させるための方策（「社会の大きな力がつながる」×「世界の大きな知が集まりつながる」×「市政がつながりを下支え・伴走する」）を項目立てして新たに書き加えること。</p> <p>○ 「安心感のある温かい社会」の考え方について、4次総の中で発展的に盛り込んでいくことを検討すること。</p> <p><u>【社会変革研究会の発足】</u></p> <p>○ 企画局・経済局を中心に全庁連携しながら、社会課題解決や新たな価値の共創にDX、GX、BXを積極的に導入できるよう、早期に「(仮称)社会の大きな力と知の活用による社会変革推進研究会(以下「社会変革研究会」)」を立ち上げ、新しい行政経営に変更していくこと。</p> <p><u>【スタジアム】</u></p> <p>○ 民間投資判断における不確実性をできるだけ小さくするため、まず、ENEOS用地の活用上の課題や利用条件を整理するための調査をより精緻に行うこと。FS(フィージビリティスタディ)を行うこととしているが、多様な主体の自由な発想を制限しないなど、現段階において検討の幅を狭めないため、市が率先して施設計画案を描かないこと。</p>

	<p><b>【アリーナ整備】</b></p> <p>○ アリーナ整備による経済波及効果は高い。ただし、民間主体で整備する場合と、PFIも含め行政の強い関与で整備する場合とは根本的に考え方が違う。これまで民間誘致と説明してきたため、行政の関与を強めるのであればその必要性についてしっかりと整理すること。</p> <p><b>【スマートシティの推進】</b></p> <p>○ データでつながる街を作っていくため、多数の分野のデータの連携基盤、都市OSを早期に設計すること。</p>
<p>財政局</p> <p>・ ふるさと納税</p> <p>・ 清水庁舎の改修</p>	<p><b>【ふるさと納税】</b></p> <p>○ 副市長をトップとした横断的なプロジェクトチームを結成し、返礼品の商品開発など商品力を高めるための取組に力を入れ、結果を出すこと。目標額を高め、その実現に向け取り組むこと。</p> <p><b>【清水庁舎の改修】</b></p> <p>○ 清水庁舎の整備方針を原位置改修／耐用年数 20 年としたことを尊重し、原位置改修案の検討精度をあげるため、より精緻な耐震性の解析を行うこと。</p>
<p>市民局</p> <p>・ 自治会活動</p> <p>・ 生涯学習の推進</p>	<p><b>【自治会活動】</b></p> <p>○ 高齢化が進み、若い世代の参加が低迷する中で、持続可能な活動に向け、社会の力を地域づくりにどのように活用するのか、全国の先進事例も調査・研究した上でその組織の在り方について整理すること。</p> <p>○ 自治会活動など「社会の大きな力」をもっと下支え、伴走する方法を考えること。</p> <p><b>【生涯学習の推進】</b></p> <p>○ 学びの機会の提供だけでなく、これからの時代に何を学ぶのか、どのような人を育てるのか考えること。</p> <p>※ リカレント教育に偏っているが、生まれてから亡くなるまでが生涯学習である。大人向けの市民講座だけでなく、地域社会がどのように成り立っているのか子どもの頃から教え、郷土愛を育むことも生涯学習である。</p>

<p>区役所</p>	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">※ 区長の権限や役割について、各区長に「静岡市区における総合的な行政運営の推進に関する規程（平成19年7月31日訓令第38号）」に基づき現在の状況や考え方などを確認</p> <p>○ 今後も現状の権限や役割の中で、市民に寄り添った温かい市民対応を実施してもらいたい。</p>
<p>観光交流文化局</p> <p>・観光振興全般</p>	<p><u>【観光振興全般】</u></p> <p>○ 宿泊率が低い、観光客一人当たりの消費額が低いという現状分析をしっかりとし、宿泊してもらうため、滞在時間を延ばすためにどうすれば良いか考えること。</p> <p>○ 次年度に向けて、「まちは博物館×まちは劇場×まちはアトリエ」を実現する政策を考えること。</p>
<p>環境局</p> <p>・家庭ごみの減量</p> <p>・プラスチックの分別回収</p>	<p><u>【家庭ごみの減量】</u></p> <p>○ 徹底した減量化を目指すこと。ごみの年間排出量が少ない政令市や5市2町との比較分析を行い、市の政策として提示すること。家庭ごみ有料化についても考え方を整理すること。</p> <p><u>【プラスチックの分別回収】</u></p> <p>○ プラスチック資源については、部分的でも回収を始めること。施設整備も含め、4次総前期の4年間でどこまでやるのか、整理すること。</p>
<p>保健福祉長寿局</p> <p>・保健福祉行政全般</p> <p>・糖尿病の有病率</p>	<p><u>【保健福祉行政全般】</u></p> <p>○ 行政だけでなく、社会の力を活用し、関係機関等も含めた形で支援することを考えること。</p> <p>○ データヘルス、デジタルヘルスについて、しっかりと推進すること。</p> <p>○ 地域包括ケアについても、引き続きしっかり取り組むこと。</p> <p><u>【糖尿病の有病率】</u></p> <p>○ 本市は政令指定都市の中で糖尿病の有病率が高いため、要因を分析し対応策を検討すること。個別化データに基づくより効果的な保健指導施策を検討すること。</p>

<p>子ども未来局</p> <p>・子育て教育環境の充実</p>	<p><b>【子育て教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大長副市長をトップ（仮称：子育て教育統括監）とし、子育て教育環境の充実に向け、研究者や地元のシンクタンク等を入れて研究会を作ること。全国の子育て政策を収集・分析した上で、本市ができていないことを分類・整理すること。</li> <li>○ 秋までに総合的な政策をまとめて、令和6年度予算に反映させること。</li> <li>○ 子どもの屋内遊び場の整備については、民間施設、利用が低迷している施設等の活用など、「社会の大きな力がつながる」の観点からの施策を考えること。</li> </ul>
<p>経済局</p> <p>・オープンイノベーション・スタートアップ支援の推進</p> <p>・企業立地の推進</p> <p>・海洋文化施設の整備</p> <p>・農業振興</p>	<p><b>【オープンイノベーション・スタートアップ支援の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中小企業の経営革新、DX導入をどうするのか、商工会議所ともよく相談して考えること。支援策について県と連携しSHIPなども活用しながら、市の総合的な支援方針を再構築すること。</li> </ul> <p><b>【企業立地の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業立地促進のプロジェクトチームを作り、本田副市長をトップに、どのような課題や要望があるのかを洗い出すとともに、法令の柔軟な運用や規制緩和なども含めた形で何が問題なのかを検討し、早急に改善すること。</li> </ul> <p><b>【海洋文化施設の整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海洋文化施設の展示内容の見直しに向けて、事業者と話し合いを開始できるよう交渉すること。</li> </ul> <p><b>【農業振興】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 茶業については、例えば、5年後に茶業を維持するためには、どのくらいの面積で、どのくらいの収入が必要なのか、そのための価格設定はどうかについてなど、バックカスティングで考えること。これまでの延長上の取組では問題は解決しない。</li> <li>○ オクシズ地域については、「オクシズ」としてのブランディングに加え、各地区ごとにどのようなブランディングをするのか、どのような生業を作るのかを考えること。外部から人が入り定着できるようにするためには、どこに課題があるのか考えること。</li> </ul>

<p>都市局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり</li> <li>・大浜公園再整備事業</li> </ul>	<p><u>【まちづくり】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「にぎわいづくり」という曖昧な言葉で終わらないこと。</li> <li>○ 小売店舗の売上げが厳しい状況にある。小売店舗の売上増に繋がるまちづくりを行うこと。具体的な指標値を設定し、効果を確認すること。</li> <li>○ 市街地再開発事業については、補助率（補助金運用ガイドライン）の見直しの方針を早急に決定すること。</li> <li>○ アセットマネジメントからアセット・コモンズマネジメントに考え方を変更すること。</li> <li>○ 青葉シンボルロードをはじめ都市デザインに取り組むこと。</li> </ul> <p><u>【大浜公園再整備事業】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 再整備案には、SDGsやカーボンニュートラル、サステナブルなどの考えが反映されるなど、より良いものにする。</li> </ul>
<p>建設局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水対策</li> </ul>	<p><u>【浸水対策】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別の箇所ごとになぜ浸水被害が起きたのか分析し、明らかにすること。</li> <li>○ 研究会を作り、専門家を入れ、流域全体、個別箇所の脆弱性評価と緊急的・中長期的な対策を早急に立案すること。</li> <li>○ 浸水に関する予測システムを導入するため、副市長をトップとしたシステムに関する研究会（仮称：巴川流域情報管理システム研究会）を立ち上げ、計画を作ること。</li> </ul>
<p>消防局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故対応</li> </ul>	<p><u>【事故対応】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 葵消防署管内建物火災について検証と対策をしっかりと行うこと。（報告書の公表段階で改めてコメントを出す。）</li> </ul>
<p>上下水道局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業</li> </ul>	<p><u>【水道事業】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安く、安定的に供給するという、供給責任を意識すること。</li> <li>○ コスト縮減について、県や他の自治体の取組も参考にするなど、徹底すること。</li> </ul>